

事務事業評価一覧(課別)

令和5年度

保健福祉部公立保育園

(単位:千円)

事務事業名	決算額	改善方向性		シートNo.
	計:	コスト	成果	
2513 公立保育園運営事業	32,407	→	→	322-01

1. 基本情報				
事務事業名	2513 - 公立保育園運営事業			
政策名	3. やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)	所属	公立保育園	
施策名	2. 安心して子どもを産み育てられる環境の充実			
基本事業名	2. 多様なニーズに応じた子育て環境の充実		予 会計 01 一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①子育て世帯の様々な保育ニーズに応えるため、保育所等と連携し、一時預かり、延長保育、病児・病後児保育、医療的ケア児保育など保育サービスの充実に努めます。 ②放課後児童クラブや各地区の子育て支援センター等と連携し、地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進します。	算 科 目	款 03 民生費	
			項 02 児童福祉費	
			目 05 こども育成支援費	
		事業期間	昭和30年～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等	特になし
	①②子育て支援を必要とする子育て世帯	①②必要な保育サービスが受けられる ①②地域で子育て支援が受けられる	関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

保護者が労働や疾病等のために家庭で乳幼児保育をできない場合に、保護者にかわって公立保育園で保育する。
 令和5年4月1日現在、公立保育園は牧園、中津川、横川の3園で、各園の定員は40人、40人、50人の総定数は130人。
 年齢ごとに定める保育計画に沿った保育を行うとともに、毎月の誕生会や安全訓練のほか、運動会や遠足、季節を感じられる行事などを実施している。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 公立保育園	公立保育園数	園	3	3	3	3
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 適切な保育が受けられる	入所率(入所者数/定員数)	%	39	0	53	40
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	33,428	32,408	43,568	園ごと入所者数(令和6年1月1日現在) 中津川 20人(定員40人) 牧園 31人(定員40人) 横川 18人(定員50人) 3園合計で定員130人に対し、入所者数69人で53%の入所率となった。 乳幼児が安心安全に活動できる保育環境の整備を行い、保育計画に沿った保育を行うとともに運動会や発表会・安全訓練などのほか季節を感じられる行事を行った。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	2,374	2,694	2,767	
	一般財源	31,054	29,714	40,801	

5. 振返り<SEE (check) >

妥当性	① この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	② この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③ 廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④ 成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤ 事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥ 事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコスト(予算)の方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	